



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 ポパール興業株式会社
 コード番号 4247 URL <http://www.poval.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-419-1827

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,804	28.9	227	116.2	235	103.5	157	17.3
30年3月期第2四半期	1,399	21.8	105	38.4	115	103.4	134	191.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 147百万円 (13.0%) 30年3月期第2四半期 130百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	119.34	
30年3月期第2四半期	101.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	5,780	4,596	79.2	3,476.80
30年3月期	5,784	4,501	77.5	3,404.79

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,580百万円 30年3月期 4,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		40.00	40.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,302	13.0	311	33.0	325	26.3	228	5.7	173.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	1,317,400 株	30年3月期	1,317,400 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	54 株	30年3月期	54 株
----------	------	--------	------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	1,317,346 株	30年3月期2Q	1,317,400 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の政策運営による政治情勢の不安定さなど国内景気への影響が懸念される中、政府による経済再生に向けた各種経済対策、製造業における生産設備の高度化・自動化を背景とした旺盛な需要もあり景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」を目標に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、特殊設計機械事業において食品向け機械の販売が堅調に推移しました。また、総合接着・樹脂加工事業においてウレタンタイミングベルト、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,804百万円（前年同四半期比28.9%増）、営業利益は227百万円（前年同四半期比116.2%増）、経常利益は235百万円（前年同四半期比103.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、ウレタンタイミングベルトの販売が堅調に推移しました。また、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は1,363百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、食品向け機械の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は440百万円（前年同四半期比203.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、5,780百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、2,672百万円となりました。これは主に、現金及び預金が116百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が169百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて66百万円減少し、3,107百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が23百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて99百万円減少し、1,183百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて110百万円減少し、841百万円となりました。これは主に、その他が156百万円減少したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、341百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が6百万円、退職給付に係る負債が5百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、4,596百万円となりました。これは主に、利益剰余金が104百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて116百万円減少し、780百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ44百万円減少し、29百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が234百万円計上されたものの、売上債権が270百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ62百万円減少し、90百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が87百万円計上されたものの、前年同四半期に計上された連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が発生しなかったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ10百万円増加し、53百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が52百万円計上されたことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	897,661	780,823
受取手形及び売掛金	860,940	1,030,875
商品及び製品	54,151	60,270
仕掛品	531,126	524,029
原材料及び貯蔵品	227,821	250,461
その他	41,084	28,590
貸倒引当金	△1,852	△2,061
流動資産合計	2,610,933	2,672,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618,085	1,618,415
減価償却累計額	△991,275	△1,010,464
建物及び構築物(純額)	626,810	607,950
機械装置及び運搬具	1,344,847	1,350,086
減価償却累計額	△1,087,441	△1,109,911
機械装置及び運搬具(純額)	257,406	240,174
土地	1,397,513	1,396,095
建設仮勘定	27,082	3,303
その他	210,636	212,953
減価償却累計額	△180,846	△185,453
その他(純額)	29,790	27,500
有形固定資産合計	2,338,602	2,275,024
無形固定資産		
のれん	65,287	57,603
その他	5,769	6,008
無形固定資産合計	71,057	63,611
投資その他の資産		
投資有価証券	620,891	625,476
その他	145,697	144,786
貸倒引当金	△2,647	△1,627
投資その他の資産合計	763,941	768,636
固定資産合計	3,173,601	3,107,272
資産合計	5,784,535	5,780,262

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,191	465,706
短期借入金	20,402	20,000
未払法人税等	42,068	67,132
賞与引当金	65,535	71,847
その他	373,701	217,295
流動負債合計	952,899	841,982
固定負債		
役員退職慰労引当金	197,668	203,832
退職給付に係る負債	121,321	127,290
その他	11,210	10,717
固定負債合計	330,200	341,841
負債合計	1,283,099	1,183,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	3,829,391	3,933,915
自己株式	△68	△68
株主資本合計	4,284,264	4,388,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,855	137,521
為替換算調整勘定	69,171	53,843
その他の包括利益累計額合計	201,027	191,364
非支配株主持分	16,143	16,285
純資産合計	4,501,435	4,596,439
負債純資産合計	5,784,535	5,780,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,399,290	1,804,362
売上原価	849,805	1,110,677
売上総利益	549,484	693,685
販売費及び一般管理費	444,054	465,732
営業利益	105,430	227,953
営業外収益		
受取利息	492	254
受取配当金	7,262	6,291
為替差益	1,486	—
その他	1,747	3,654
営業外収益合計	10,988	10,200
営業外費用		
支払利息	784	227
為替差損	—	2,618
その他	21	45
営業外費用合計	805	2,891
経常利益	115,613	235,262
特別利益		
固定資産売却益	775	—
匿名組合投資利益	30,928	—
保険解約返戻金	27,432	—
特別利益合計	59,136	—
特別損失		
固定資産除却損	731	645
特別損失合計	731	645
税金等調整前四半期純利益	174,019	234,617
法人税等	38,616	76,653
四半期純利益	135,403	157,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,349	746
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,053	157,217

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	135,403	157,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,938	5,665
為替換算調整勘定	△1,755	△15,932
その他の包括利益合計	△4,694	△10,266
四半期包括利益	130,708	147,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,570	147,554
非支配株主に係る四半期包括利益	1,138	142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	174,019	234,617
減価償却費	58,265	69,285
のれん償却額	2,580	7,684
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	△818
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,301	6,358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,148	5,745
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△17,079	6,085
受取利息及び受取配当金	△7,755	△6,546
支払利息	784	227
為替差損益 (△は益)	△2,775	△2,819
固定資産売却損益 (△は益)	△775	—
有形固定資産除却損	731	645
保険解約返戻金	△27,432	—
匿名組合投資損益 (△は益)	△30,928	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,315	△270,290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△59,103	△26,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	123,801	15,149
その他	△4,356	33,766
小計	101,121	72,583
利息及び配当金の受取額	6,747	5,492
利息の支払額	△882	△228
法人税等の支払額	△32,474	△48,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,512	29,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,245	△87,544
有形固定資産の除却による支出	△721	△645
有形固定資産の売却による収入	775	—
資産除去債務の履行による支出	△275	△275
無形固定資産の取得による支出	△12	△700
投資有価証券の償還による収入	20,000	—
投資有価証券の払戻しによる収入	5,486	4,261
ゴルフ会員権の償還による収入	—	4,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△164,513	—
貸付けによる支出	△4,612	△534
貸付金の回収による収入	712	985
保険積立金の解約による収入	57,270	—
保険積立金の積立による支出	△10,849	△10,849
預り保証金の返還による支出	△1,000	—
差入保証金の回収による収入	2,547	130
差入保証金の差入による支出	△2,854	△121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,290	△90,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,658	△397
配当金の支払額	△39,500	△52,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,159	△53,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,822	△2,653
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△122,758	△116,838
現金及び現金同等物の期首残高	914,251	897,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	791,492	780,823

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,254,214	145,075	1,399,290	—	1,399,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	5,280	5,429	△5,429	—
計	1,254,363	150,355	1,404,719	△5,429	1,399,290
セグメント利益	163,169	50	163,220	△57,789	105,430

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,220
セグメント間取引消去	△973
全社費用(注)	△56,816
四半期連結損益計算書の営業利益	105,430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

特殊設計機械事業において、当第2四半期連結会計期間にユニカー工業株式会社の株式を取得したことにより、セグメント資産が289,365千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間より、ユニカー工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、特殊設計機械事業において51,035千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,363,722	440,640	1,804,362	—	1,804,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	8,856	8,901	△8,901	—
計	1,363,767	449,496	1,813,264	△8,901	1,804,362
セグメント利益	166,557	92,613	259,171	△31,217	227,953

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	259,171
セグメント間取引消去	939
全社費用(注)	△32,157
四半期連結損益計算書の営業利益	227,953

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。